

光

Picoナーサリ新高円寺

4歳児 もも組

テーマ：光

テーマを設定する

太陽の光や室内のライトなど日頃から興味を持って話をしていた為、光をテーマとした。

活動スケジュール(4歳児クラス)

活動内容		時間	人数
①	太陽の光～自分の影、物の影～	10分程度	5人ずつ
②	暗闇の中の光	5分程度	2人ずつ
③	積み木や玩具を照らす	10分程度	5人ずつ
④	影絵・シルエットクイズ・ストーリー	30分程度	2～5名 自由参加
⑤	手作りランタン	30分程度	自由参加

活動① 太陽の光～自分の影、物の影～

『影はどうしてできるのだろうか?』という問いをもとに、光と影の関係性を探ることを狙いとした活動を行った。

環境準備

- ・晴天の日テラスにて

探究活動を実践する

●活動内容

- ・晴天の日、テラスにて自分の影を観察した。

●子ども達の様子

- ・日陰と日向を行き来しながら、自分の影を追いかけていた。
- ・手でハートを作ったりポーズを変えたりしながら、自分の影の変化を楽しんでいた。
- ・日常生活にありふれているものでも視点を変えた声掛けをするだけで子どもは様々な発見をしたり疑問を持ったりするのだと感じた。

振り返りをふまえた気づき

- ・日頃から動きが活発な子どもはダイナミックに体を動かし影の変化を楽しんでいた。いつも考えながらよく見ている子どもは自分と影のポーズを一つずつ確かめながら動いていた。
- ・光があるから影ができることは知っていたが、それがどうしてかまでは知らない様子が伺えた。



活動② 暗闇の中の光

光と影の関係性をさらに深く知る為に、暗闇でライトを照らす活動を行った。

環境準備

- ・ダンボールハウス、ライト、ランタン

探究活動を実践する

●活動内容

- ・暗いダンボールハウスに2名ずつライトを持って入り、照らすことで様々な発見を楽しんだ。
- ・ライトとランタン、それぞれ違う光を用意し明るさの違いや自分の影に気が付いた。

●子ども達の様子

- ・ライトで天井を照らし「お月様みたいだね」と話したり、近づけたり遠ざけたりすることで大きさが変わることに気が付いていた。
- ・ランタンの光を見ると「熱いのかも」と手を近づけ、自分の影が壁に映ることを発見していた。
- ・「電気消してみようよ」と真っ暗にし、友達の姿も影も見えなくなることを楽しんでいた。

振り返りをふまえた気づき

- ・2名ずつ同じ活動を行ったが、それぞれのグループで違う発見や楽しみ方が見られた。一人一人の興味や発見に注目し、今後の活動に繋げていく。
- ・「ライトで照らしてみたらどうなるかな？」と保育室内の物を例に挙げる姿が見られた。その中に制作のステンドグラスも含まれていた為、次は室内を照らす活動を行う。

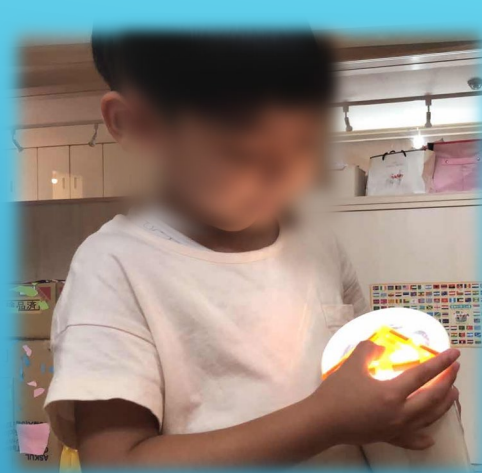


活動③ 積み木や玩具を照らす

光と影の関係性をさらに深く知る為に、暗闇でライトを照らす活動を行った。

環境準備

- ・積み木、マグフォーマー、マグビルド、ライト、ダンボールハウス



探究活動を実践する

●活動内容

- ・室内で積み木やマグフォーマー、マグビルドを積み上げ、部屋を暗くしライトで照らした。

●子ども達の様子

- ・ライトで部屋中を照らし、発見を楽しんだ。
- ・見つけたことを言葉にし、友達や保育者に伝えていた。

振り返りをふまえた気づき

- ・グループによって発見するものに違いが見られたが、宝石の反射や影はどのグループも見つけていた。
- ・興味のある子ども達は、影の伸び縮みにまで気が付いていた。
- ・色の反射に興味を持っていた為、スタンドグラスを作る活動も取り入れていく。

活動④ 影絵・シルエットクイズ・ストーリー

光と影をつかった遊びを楽しめるよう、影絵遊びを行った。

環境準備

- ・障子紙のスクリーン、ライト



探究活動を実践する

●活動内容

・障子紙とライトの間に手を入れ、影の発見を楽しんだ。室内のもので影を作り、シルエットクイズに発展させた。その後は、折り紙で人間や花を作り、オリジナルのストーリーを発表した。

●子ども達の様子

- ・「お部屋にあるものどんな影ができるか映してみようよ」と鉛筆や、絵本、積み木、人形で影を作り、シルエットクイズに展開させていた。「折り紙で作ったものも映るのかな」と花や人間を作る。
- ・保育士からの提案により、影絵を使ってオリジナルのストーリーを作り、雨は手で表現していた。

振り返りをふまえた気づき

- ・影作り、シルエットクイズ、ストーリー作りと子ども達は保育士の声掛けで次々に遊びを展開させていた。一人一人様々なアイデアを出し合っていて楽しんでおり、30分以上遊んでいたが、「もっとお話し作りたかった」と興味や意欲を見せていた。
- ・数回の活動を通し、光と影を使った遊びに親しみを持っている様子が伺える。